

2013年 5月22日

No.173

又市征治 国政だより

又市征治事務所

発行責任者 東 篤

富山市下新町 8-16

TEL 076-441-0800

HP: www.s-mataichi.com

5月20日に決算委員会が開催され、2010年度決算等の締め括り総括質疑と採決が行われました。自民党、民主党等の党利党略的国会運営によって、例年より1年遅れとなりました。

特別会計改革の積極的推進を求める



又市征治幹事長は、冒頭、自らがこれまでに50回以上特別会計改革について質問を行い、06年から13年までに35兆円の特会剰余金が一般会計に繰り入れられたこと、この間の特会改革の成果を指摘しました。それを踏まえ、民主党政権下で、昨年、決定された特会改革の基本方針が凍結されている理由、今後の特会改革への安倍政権の決意を質しました。

安倍総理は、具体的な方向性や改革の工程を示すこともなく、単に抽象的に改革をすすめたいと答弁するのみで、改革への熱意を疑わせるものでした。又市幹事長は他党の改革案であっても、改革に資するものは積極的に採用すべきと注文をつけました。

核燃サイクルは即時中止、もんじゅは廃炉に！

次に又市幹事長は、原発建設を進め福島原発事故を引き起した政府の責任を質しました。そして広島型原爆120万発分ともいわれる使用済み核燃料の処理問題の解決抜きに、原発再稼働、新增設を進めることは、後世に大きな危険と負担を負わすものであり、脱原発を国家目標とすべきと要求しました。

安倍総理は、これまでの原発推進政策に反省の意を示し、原発依存度を低下させると述べましたが、経済性を前提としたエネルギー政策をすすめるとの立場を繰り返しました。

さらに又市幹事長は、ずさんな安全管理が指摘された「もんじゅ」の開発を進める日本原子力研究開発機構への厳しい対応と、核燃サイクル中止と「もんじゅ」の即時廃炉を政府に要求しました。

安倍総理は、日本原研に対し抜本的に組織、体制の見直しを図り、信頼回復に努めると述べました。「もんじゅ」については、エネルギー政策の検討の中でその位置付けを考えると、核燃料サイクルについては、引続き取組むと世論に背を向ける答弁を行いました。

防衛予算のあり方、また防衛産業との関係の抜本的な見直しを！

最後に又市幹事長は、会計検査院から繰り返し過大請求等について指摘を受けている防衛省の抜本的な体質改善を求めました。小野寺防衛大臣は、検討委員会を設け、調達制度等について検討していくと述べたのみでした。

2010年度決算等に関しては、社民・民主・国新の連立政権によって編成されたことを踏まえ、社民党としては防衛予算、原発関係予算等について問題点を指摘しつつ是認しました。また全会一致で、政府に対する5本の警告決議、2本の措置要求決議を採択しました。